

地区公民館が完成

国 府

木材団地誘致の補助金で

地区民が待ちわびた国府地区公民館がこのほど完成し三月六日、暖房設備も整った一階大会議室で竣工の神事と落成式が行われました。

この公民館改築は、二十数年前

から要望があり、昭和五十二年の国府保育所改築やその後の比江山造成に伴って、地元との整備条件の一つとなっていました。そして、昭和五十七年比江山に「高知県中央木材工業団地」を誘致したことに



待望の公民館完成をもち投げをして祝った

より、通商産業省の工業再配置促進費補助金の対象事業として認められ、昨年九月から工事が進められていたものです。そのため、総工事費五千六百二十四万円のうち、三千七百十三万円が国の補助金で賄われています。

地元住民など40人が参加した落成式



公民館は、鉄筋コンクリート造二階建て、建築面積二百四十三・九平方メートル。一階に大会議室、調理実習室、和室、管理入室、二階は図書室、談話室、和室二つとなっており、冷暖房設備も完備されています。また、書棚やまな板など備品の一部は、木材団地から寄贈されています。

卒業生と最後の集い

白木谷小

学び舎を巣立つ、別れの季節三月一日、国道三十二号釜ノ川から西へ約四キロ入った白木谷小学校（吉川裕校長、児童数四十人）で三月三日、「卒業生を送る会」が行われました。今年の卒業生は四人、すべて女の子です。

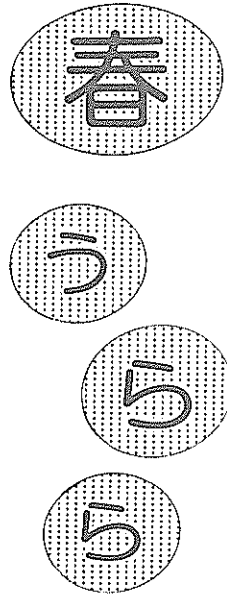
一時間目の授業が終わると、会場となる音楽室と図書室に子どもたちが集まり準備開始。そして、児童会の代表が「六年生との最後の思い出として、今日は頑張りましょう」とあいさつ。まず、一年生の劇「三びきの子ぶた」から、大きな声を張り上げ元気いっぱい熱演で始まりました。それから二年生、三・四年生、五・六年生と複式学級の単位で、それぞれ楽しい劇が披露されました。全校生徒が四十人ということで、家族がよく知った仲良しどうし、家族

力に感謝します。このりっぱな施設を、地域の文化、社会活動に十分に活用していきたい」とあいさつ。最後は、屋上からもち投げをして、住民みんなで完成を祝いました。

この企画は、新しい児童会の役員さんが考えたもので、子どもたちの手作りの「送る会」です。劇の後、ほたるの光を全員で斉唱し、四人の卒業生が紹介され、在校生の代表が「りっぱな中学生になってください」と言って、巣立つ六年生との最後の時を過ごしました。



楽しい劇に卒業生も大喜びだった



待ちどろしくかった「春の足音」が聞こえてきました。今年の冬が例年になく厳しかっただけに、「春の香り」はうれしいものです。開花が大幅に遅れていた梅の花もやっとほころび始め、空港の近くにある高知高専の早咲き桜（コヒガンザクラ）も、咲き始めました。野原では「つくし」「たんぽぽ」「ふきのとう」も……。中旬を過ぎると水もぬるみ、本格的な春を告げる早期稲の苗づくりも始まります。



つくし…国分川南岸の岡豊橋上流では春の香りがする「つくし」が出はじめた

園児の手料理で

お別れパーティー

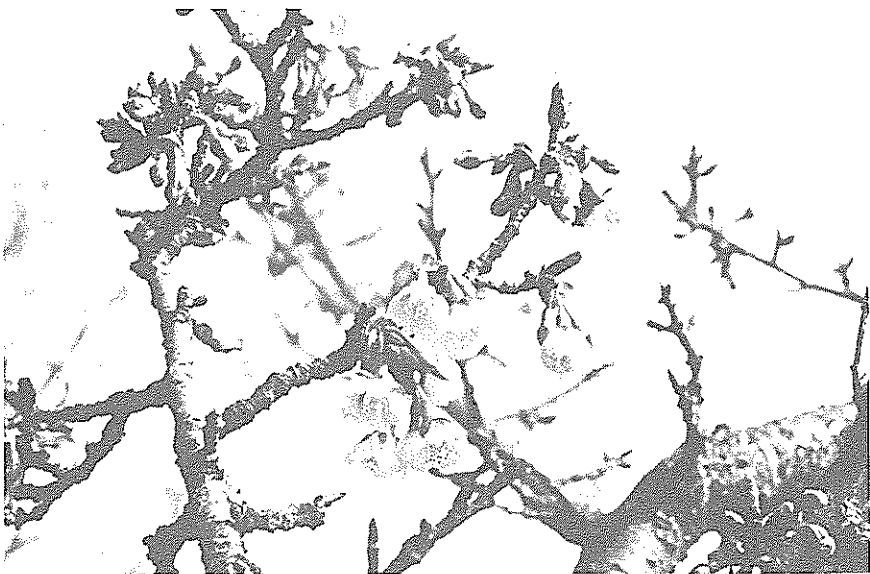


かわいの手でお料理—大湊保育所（中村博子所長）で三月八日、

園児の手料理で、年長組とのお別れパーティーが行われました。

自分たちが作ったおでんやおにぎりを売る園児たち

各クラスごと、乳児組はホットケーキ、三歳児が野菜サラダとちくきゅう、四歳児はお好み焼き、五歳児がおにぎりとおでん作り。上手に野菜を切ったり、慣れない手つきでおにぎりをにぎったり、はしやぎながら楽しそうに料理をしました。おでんは前日から下ごしらえをし煮込みも十分、また調理師さんがおいしいカラ揚げも用意し、朝九時から始めた準備も、十一時過ぎには全て出来上がり。さっそく、遊技室にそれぞれの料理を並べ、開店。「おにぎりいくつ」「二つ」と言って、皿を持った園児が好きな物をもって、飾り付けをした教室で、仲良くおいしそうに食べていました。



桜…早咲きて有名な高知高専のコヒガンザクラがやっとほころび始めた。空港から土佐路に入る観光客を歓迎しているようだ。—「春近し、